

タイ及びその近隣国に対する経済協力の推進

日・タイ経済協力協会の活動 インターン受入れ支援事業

2021年12月17日

一般社団法人 日・タイ経済協力協会〔JTECS〕

Japan - Thailand Economic Cooperation Society

日・タイ経済協力協会（JTECS）概要

目 的： タイ及びその近隣国との経済協力を推進し、経済・技術の発展に貢献するとともに、日本との友好増進に寄与する。

設 立： 1972年7月7日

事 業： **I. 泰日経済技術振興協会（TPA）
支援事業**

**II. 泰日工業大学（TNI）
支援事業**

III. 政府受託等事業

IV. 会員向け事業

講演会の開催

機関誌「日・タイパートナーシップ」の発行

TNIジョブフェアへのご案内、他



会 長 内山田 竹志
(トヨタ自動車会長)

会 長	内山田 竹志	トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長
理 事 長	桑 田 始	株式会社JECC代表取締役社長
専務理事	下大澤 祐二	一般財団法人海外産業人材育成協会 囑託
理 事	大 野 泉	政策研究大学院大学 教授
	白石 勝己	公益財団法人アジア学生文化協会 理事長
	栗山 信也	一般財団法人海外産業人材育成協会 理事長
	助川 成也	国土舘大学 政経学部経済学科 准教授
	西浦 完司	三菱商事株式会社 代表取締役常務執行役員
	宮田 孝一	株式会社三井住友銀行 取締役会長
	村 山 良	東レ株式会社 代表取締役副社長
監 事	竹内 正興	一般財団法人国際開発センター 代表理事・理事長
	林 信 秀	株式会社みずほ銀行 常任顧問
名誉顧問	安倍 晋三	衆議院議員
顧 問	市川 正和	日野自動車株式会社 相談役
	大八木 成男	帝人株式会社 相談役
	斎 藤 保	株式会社IHI 代表取締役会長
	榊原 定征	東レ株式会社 社友 元社長・会長
		一般社団法人日本経済団体連合会 名誉会長
	佐々木 伸彦	独立行政法人日本貿易振興機構 理事長
	田中 聡	三井物産株式会社 顧問
	宮地 伸二	AGC株式会社 代表取締役専務執行役員

泰日経済技術振興協会

～多くのタイ進出日系企業がTPAをご利用～

タイの社会人教育、産業支援サービスを提供

設立 1973年設立

- 事業**
- ✓ 日本の技術書や日本語教材等の翻訳出版・販売
 - ✓ 語学学校（日本語、タイ語、英語、中国語等）
 - ✓ マルチメディア制作、翻訳・通訳派遣サービス
 - ✓ 研修セミナー
 - ✓ 校正サービス（工業計測機器、実験器具の校正・検査）
 - ✓ 企業診断・コンサルティング



（１）事務総長の交代

2020年09月末

マンコン事務総長退任

2020年10月～12月末

プラユーン事務総長代理（元会長）

2021年01月～

スポット事務総長就任

（２）新型コロナウイルス感染拡大対応

※2020年3月末の非常事態宣言を受け

語学学校は4月半ば～、研修は6月～オンライン授業を導入

（３）盤谷日本人商工会議所からの事業受託

国立3大学で寄付講座「日本企業文化理解」等を実施

（４）JTECS/AOTS受託事業（経済産業省）への協力

タイ版スマートものづくり応援隊創設支援事業の実施協力



新事務総長

Dr. Supoj Chinveeraphan

TPAの主な日本人対象セミナー

「安全管理者講習」（タイ労働福祉省認定）

安全管理者並びに安全・衛生・職場環境委員会の設置方法

「事例・判例から学ぶタイ労働関連」

就業規則の見直し、労使間の契約書と労使紛争、解雇トラブル

「タイ輸出入セミナー」

基礎知識編、実務応用編、リスクマネジメント

「クロスカルチャー」

日・タイの文化・習慣からビジネスシーンにおける考え方の違い

「タイ語コミュニケーション」 全60時間

最新のタイ語教授法を取り入れた生活に必要な会話力の習得



泰 日 工 業 大 学

～卒業生の多くが日系企業、日本企業に就職し活躍～

日本のものづくりを理解する即戦力人材を輩出

設 立 2007年設立

学生数 約 4,500名

学 部 工学部、情報技術学部、経営学部

特 徴

- ✓ 現場インターンシップ教育重視
- ✓ ものづくりの理論と実践の両立
- ✓ タイ基幹産業のニーズを重視
- ✓ 社会人向け教育の充実
- ✓ コミュニケーション力重視（日本語・英語）



（1）学長の交代

2020年11月末

バンディット学長退任

2020年12月

クリサダー学長就任（元学長）

（2）新型コロナウイルス感染拡大の影響

※2020年3月末の非常事態宣言を受け

2020年6月新年度からオンライン授業を導入（現在はオフラインも併用）

（3）日本企業・日系企業との交流等

ジョブフェアのオンライン開催（日系企業が多数参加）

日系企業から奨学金寄付、日本の財団から助成金を拝受

（4）強化分野

イノベーション〔スタートアップ支援・共同研究等で日系企業との協力を強化〕

産業高度化〔タイ版スマートものづくり応援隊創設支援事業への協力と企業コンサル強化〕、他



新学長

Assoc. Prof. Dr. Krisada
Visavateeranon

アジア・大洋州の生産拠点になりつつある
タイの産業発展に資する優秀な技術者・
中核産業人材を育成。日本のものづくりの
技術知識・技能・魂を学生に伝授。

設 立： 2007年6月
学生数： 約4,000人
所在地： 177/1 Pattanakarn Rd.,
Suan-Luang, Bngkok

教育の特徴

- ✓ 現場インターンシップ教育重視
- ✓ モノづくりの理論と実践の両立
- ✓ タイ基幹産業のニーズを重視
- ✓ 社会人向け教育の充実
- ✓ コミュニケーション力重視(日・英)

TNI 入学・卒業生数 (2007-19 教育年度)

	課 程	略称	教 育 年 度				
			2007-16	2017	2018	2019	合計
工学部	自動車工学	AE	1,448	112	133	88	1,781
	リーン自動化・システム インテグレーション工学*	PE → LE	584	50	26	21	681
	コンピュータ工学	CE	861	81	69	76	1,087
	産業工学	IE	289	51	38	35	413
	電気工学	EE	264	58	52	35	409
(国際)	デジタル工学	DGE			27	14	41
情報技術 学部	情報技術学	IT	1,117	95	60	58	1,330
	マルチメディア技術学	MT	804	136	109	116	1,165
	ビジネス情報技術学	BI	343	45	35	19	442
	広報デジタル技術学	DC			40	30	70
(国際)	データサイエンス・解析学	DSA			8	13	21
経営学部	技術・イノベーション 管理学*	IM → MI	1,139	37	36	51	1,263
	日本語・経営学	BJ	1,687	169	157	158	2,171
	ビジネス・工業経営学*	BM	187				187
	国際経営学	IB	653	95	67	75	890
	会計学	AC	302	57	35	26	420
	日本の人事管理学	HR	277	43	36	20	376
	ロジスティックス・サブ ライチェーン管理学	LM		82	47	48	177
	創造的・デジタルマーケ ティング学	TH		54	31	21	106
	革新的観光・接遇管理学	CM				39	39
	国際ビジネス経営学	IBM			26	17	43
(国際)							
学部入学生数 合計			9,955	1,165	1,032	960	13,112
学部卒業生 (卒業式の年)			3,243	729	929	887	5,788
修士課程	工学技術学	MET	125	14	9	11	159
	情報技術学	MIT	84	15	28	23	150
	革新的工業経営学	MBI	462	17	8	13	500
	リーン製造システム・ 物流管理学*	LMS	227	14	10		251
	日本語・経営学	MBJ	62	21	14	16	113
修士入学時の学生数 合計			960	81	69	63	1,173
修士修了生数			458	101	72	65	696
入学生総数			10,915	1,246	1,101	1,023	14,285
卒業生総数			3,701	830	1,001	952	6,484

2015年度 補正予算 AMEICC拠出金事業 「訪日インターンシップ」

日本の中小IT企業がインターン生を採用した事例

TNI在学生の訪日インターンシップ 実績（2013年度～2019年度）

経済産業省受託事業/AMEICC拠出金事業

合計 170名

（内訳）工学部	66名
情報技術学部	31名
経営学部	73名



泰日工業大学（TNI）卒業生の採用事例「トリプルワン社」

設立：1995年

資本金：9,988万円

従業員：55名（契約社員を含む）

事業：ハードウェア・ソフトウェアの設計開発等



塩田社長

TNI学生採用：

日本人学生の採用が困難な中、JTECSのインターンシップ制度を利用して、当社に合うTNI学生を戦略的に採用

効果・展開：

技術者の定数充足に加え、職場のグローバル意識向上にも貢献

将来的にタイ展開も睨んで、TNIとの共同研究を検討中



ハードウェア開発
タナラクさん



プログラマー
ビヤフットさん



ハードウェア開発
ワロートさん

出典：TNIニュースレター No. 15

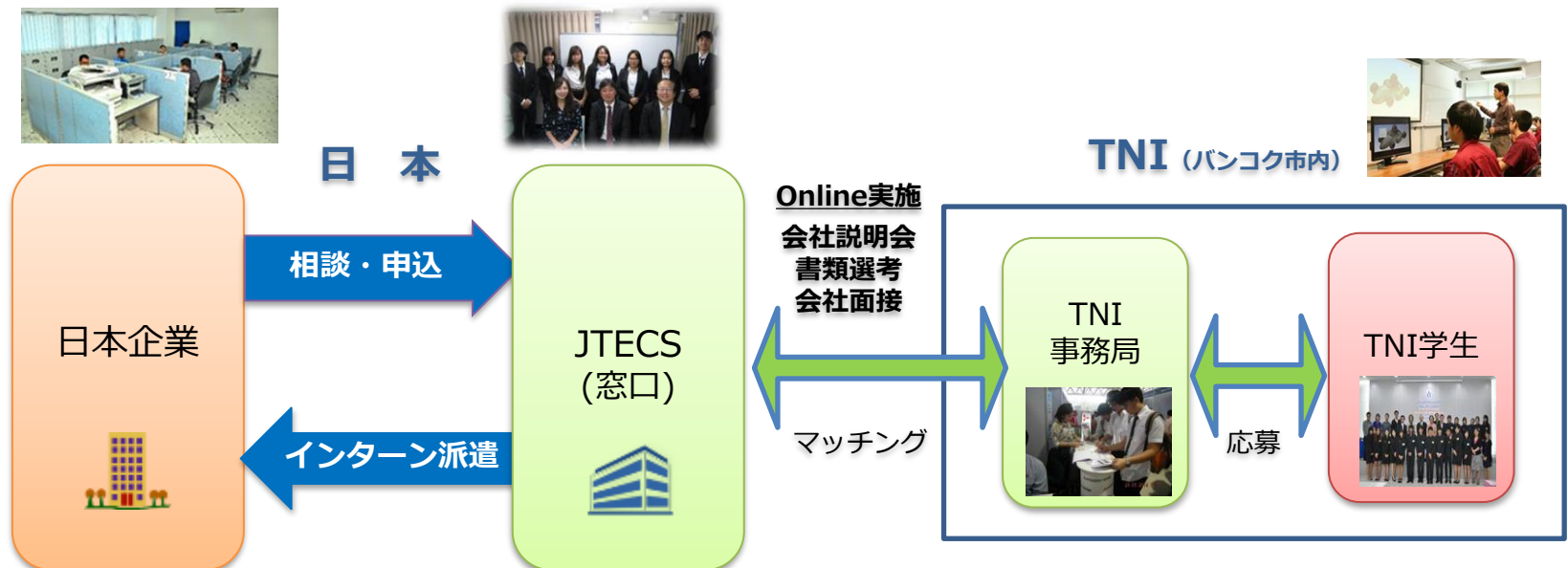
JTECS Internship（ジェイテックス・インターンシップ）

JTECSでは、2013年度～2019年度に亘り、日本政府等の委託事業を通じて、泰日工業大学（TNI）から170名の学生を受入れ、日本の中小企業等でインターンシップを行った実績があり、のちに卒業後の採用に繋がったケースも少なくない。

同委託事業は既に終了したが、タイ人学生を受入れた中小企業はもとより、泰日工業大学からも訪日インターンシップの継続実施に対して根強いニーズと事業再開の要望が寄せられている。

そこでJTECSでは、今後の需要も勘案し、新たに自主事業として、JTECS Internshipを2022年度内に立ち上げ、そうしたご要望にお応えする。

※ただし、当協会において、従来の経費の100%補助をいただいた政府受託事業とは異なり、本サービスをご利用いただく日本企業及びタイ人学生に経費負担をいただくことになるため、マッチングをきめ細かく行い、卒業後の就職に繋がられるよう最大限注力する。



JTECS「タイ人学生インターンシップ」の強み

○日本語力：

インターンは日本語検定N3以上が多く、日本語でのコミュニケーションが可能です

日本語能力検定の目安

N2＝日常使われる日本語の理解に加え、やや高度なやりとりまで可能

(漢字1,000字・語彙6,000語程度を習得、日本の大学留学希望者の目標)

N3＝日常使われる日本語を理解

(就労の日本語、場面に応じたやりとりも可能、漢字700字・語彙3,500語程度を習得)

N4＝基本的な日本語を理解

(ゆっくりした会話でのやり取りが可能、漢字300字・語彙1,500語程度を習得)



○選抜制度：

学部4年生1,000人から成績優秀で生活態度の良い学生45名程度を選抜します

○事前研修：

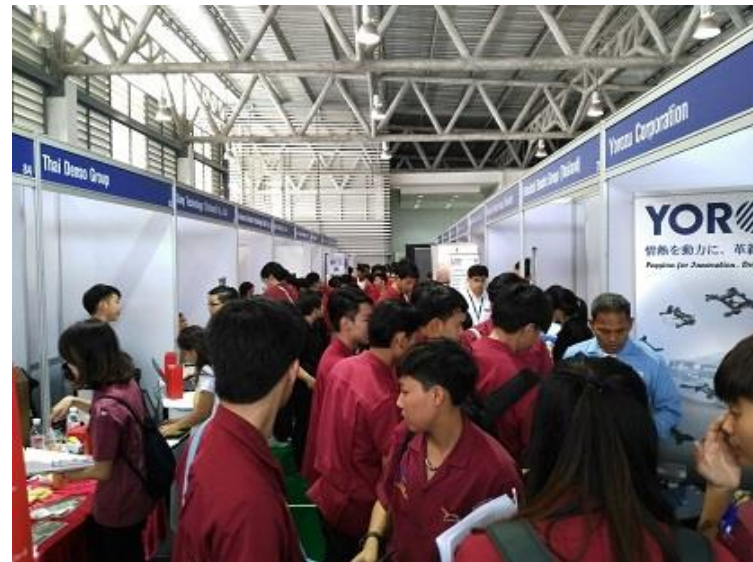
来日前に大学で「日本のビジネス習慣」を受講し、受入企業の事業概要を理解した上で日本でのインターンシップに臨みます

- JTECSでは、下記のような点に留意し、インターンシップご利用の受入企業様と学生双方の希望に添えるようにマッチングを行っています。
- － 受入企業様の事業内容、職場環境等(JTECS担当者が訪問調査)
- － 受入企業様が求める学生像(学部、性別、人数、日本語能力等)
- － タイ人学生に対する企業情報、研修内容、生活環境の事前提示

泰日工業大学(TNI)ジョブフェアへのご案内

「タイ人学生インターンシップ」のご利用企業の皆様に、毎年1月中旬に開催のTNIキャンパスにおけるジョブフェア（就職合同説明会）に優先的にご案内します。

ジョブフェアには、4月に卒業見込みの学部生約1,000名が参加、また日本とタイ両国の採用企業120程度が出展されています。



TNIにおいて企業紹介を常設

- 御社のパンフレットや企業紹介ビデオなどをいつでも学生に見てもらえるよう、TNI就職コーナーにおける**展示権が1年間付与されます。**



コワーキングスペースの設置

コワーキングスペース（インキュベーション）をTNIのA棟2階に設置し、日本のスタートアップ企業への支援サービスを開始



コワーキングスペース
メンタリングやパート
ナー紹介等のサービスを
提供

産学共同研究協力

全学18の研究室を中心に産学協力を実施
日系企業に研究分野やサービスをご紹介
（NEDOや日系企業との協力実績あり）

✓ 工学部の主要研究テーマ

人工知能、無線センサ、燃料電池、
モーター駆動・制御、自動化、金型設計等

✓ 情報技術学部の主要研究テーマ

経営管理のソフト開発、モバイルアプリ開発、
グラフィックデザイン、IT設計等

✓ 経営学部の主要研究テーマ

TPS、ビジネス管理の効率化、デジタル技術
によるマネジメント、企業診断等

スマートAED（自動体外式除細動器）動作環境開発



既存機械をスマートシステムにする



スマートファームに省電力無線通信活用



案内は、2022年3月以降。

企業募集は、2022年5月ごろ。

費用は、泰日工業大学(TNI)と調整中。

【広報活動等】JTECSとタイ工業省産業振興局との覚書締結

2019年9月27日に都内で、スリヤ工業大臣と内山田会長の立ち合いの下、タイ工業省産業振興局（DIP）のコブチャイ局長（現、工業省事務次官）とJTECS桑田理事長との間でパートナーシップ覚書に調印。同覚書は、包括的な日タイ産業協力に関わるもので、タイの自動化・ロボット化の推進も包含している。



都内ホテルでの調印式風景

政府受託事業「タイ版スマートものづくり応援隊創設支援事業」

成果普及セミナーの開催

～ 2019年度成果をタイ産業界に普及 ～

日 時：2020年11月18日（水） 13:20 - 16:30

場 所：BITEC会場・イベントホール103 ※METALEX展示会開催中

主 催：経済産業省、タイ工業省、日・タイ経済協力協会、海外産業人材育成協会

共 催：Reed Tradex Co., Ltd.

後 援：ジェトロ、盤谷日本人商工会議所、タイ工業連盟、
インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ、
泰日経済技術振興協会、泰日工業大学、AOTSタイ同窓会

参加者：計264名

言 語：タイ語/日本語逐次通訳

内 容： 挨拶 経済産業大臣 梶山弘志（ビデオ） <敬称略>

挨拶 タイ工業大臣 Suriya Jungrugreangkit（ビデオ）

挨拶 ジェトロバンコク事務所所長 竹谷厚

挨拶 日・タイ経済協力協会会長 内山田竹志（ビデオ）

挨拶 タイ工業省産業振興局長 Nattapol Rangsitpol

特別講演 インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ

理事長 西岡靖之（ビデオ）『これからの製造業におけるDXの重要性：さらなる成長に向けて』

プレゼン 本事業専門家 渡部寿彦（ビデオ）

プレゼン タイ人IoT化支援指導員 第一期生 Aチーム『2019年度成果』

プレゼン タイ人IoT化支援指導員 第一期生 Bチーム『2019年度成果』

プレゼン 泰日経済技術振興協会会長 Surapant Meknavin

『タイ版スマートものづくり応援隊創設支援事業への協力概要』

閉 会 海外産業人材育成協会理事長 栗山理事長（ビデオ）

